

2023年7月4日

課題名：放射性医薬品発注をシミュレーションした至適投与量による被ばく低減

◆研究の目的と概要◆

当院では、核医学検査を実施した患者さんについて、体重、投与量、収集時間、画質から至適な薬剤投与量を調べています。本研究では、一定の薬剤投与量ではなく、至適な薬剤投与量で被ばく低減を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2020年1月から、2023年5月までの間に、PET および SPECT 検査を実施した方。

◆研究に使用される情報◆

体重、投与量、投与時間、収集時間、PET および SPECT 画像データ

◆研究方法◆

2020年1月から2023年5月の間にPET および SPECT 検査を実施した方の体重、投与時間をもとに至適投与量を算出し、実際の投与量と比較してどの程度被ばくを低減することができるのか検証を行います。

また、画像データから至適投与量で収集時間や画質に問題がないか検証を行います。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
放射線技術部 研究責任者 北川 和希

E-mail: kenkyu★chnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明